



発行／東京都足立区 〒120 足立区千住一丁目4-18 ☎(882) 1111 編集／企画部広報課

1面…見つめ直そう  
身近な人権問題  
2面…明るい社会を  
めざして

損われるものではなく、生かされるものではない。それは、最大限に尊重されるのではなく、最大限に尊重されなくてはなりません。

心身に障害をもつために社会的な活動が制限されたり、社会的、経済的、文化的に不利な待遇を受けることとなる社会を実現することが、国際障害者年のもテーマである「完全参加と平等」の基本理念です。

障害をもつ人を持たない人が、ともに生きる社会を築いていくことも最大大切なことは、差別と偏見をつつ心の壁を取り除くことましよう。

高めよう

男女共生社会の  
実現をめざして

いま、区では、社会のあらゆる分野に女性の視点が生かされ、共同参加、相互乗り入れでできる男女共生社会の実現をめざして、第2次女

しく理解し合うことが、足立区の国際化にとって、最も大切なことと言えます。

皆さんも、国際化時代にふさわしい人権意識をもつて外国人と交流を深めるよう、お願いします。

見つめ直そう  
身近な人権問題

しかし、いまだに、「女性  
は家庭で家事・育児を」と  
いう伝統的で固定的な役割  
分業観が根強く残り、女性  
の活躍が正しく評価されて  
いないのが現状ではないで  
しょうか。

**いじめ110番**  
 気がついたとき、すぐ相談を  
**☎884-7867**  
 教育センター相談室  
**☎882-1170**  
 教育委員会教育相談室

場所 竹の塚センター  
講演 「変わる東京の人権問題」 磯村英一氏  
映画 「友子よ、晴れない霧はない」  
表彰式 第7回人権ポスターコンクール入賞者  
問合せ先 本庁舎(千住)・同和対策  
☎882-1111(代)

◆平成3年1月1日から区内の電話局番は、現在の番号の頭に3を付け加えた4ケタになります。

氏 名	住 所	電話番号
田口 富藏	〒123 本木 南町 21 - 11	886-3300
小泉 清治	〒120 小台 2 - 45 - 6	919-5010
落合 修二	〒120 千住 5 - 9 - 5	888-2530
野中 廣司	〒121 竹の塚 2 - 32 - 17	859-4050
宝谷 茂	〒123 栗原 4 - 18 - 7	896-5111
児矢野 操	〒120 綾瀬 2 - 23 - 18	602-4178
飯沼 清夫	〒123 桶田 7 - 15 - 2	849-2801
丹野 澄子	〒121 青井 6 - 16 - 6	886-8564
堀老原幹雄	〒123 西新井栄町 1 - 5 - 5	886-7375
井智恵子	〒123 西新井栄町 2 - 21 - 3	890-1857
荒井 恵子	〒120 千住緑町 2 - 10 - 18	881-3885
高橋 忠男	〒120 千住緑町 2 - 20 - 3	870-1340

区内には、権を侵された人の救済や、人権を尊重する考えを広める任務を持つ人権擁護委員がいます。

人権擁護委員は、区長が議会の同意を得て推薦され、区では毎月第2火曜日、午後1時から4時まで人権身の手相談を本庁舎（千代・区民相互相談室）で行っています。相談は、いずれも無料で秘密は固く守ります。



明るい社会をめざして

なぜ部落差別が  
生まれたのでしょうか

同和問題 部落差別をなくそう

民からの年々の取り立てが、日本国憲法が規定され、まゝ具體的には、就職や結婚など、自由が、同和地区に生まれ育ったという理由だけで十分保障されていないこととです。

しかし、今なお、権が優民や町人の不義に大きくなり、反抗するようになり、害される問題があります。

東京にも部落差別があるのでしょうか

企業が従業員を採用する時には、社員採用にあたって同和地区の出身者かどうかを調べ、出身者なら採用しないというように、これを利用していたところもある。昭和50年に明らかにき

れた「人事秘録部地名総鑑」の取柄事件があります。これは全国の同和地区の新しい地名や戸籍、職業などを記載したもので、同和地区の人々の就職をはじめ、さまざまな差別を助長する図表でした。

心を通わせる事業が起きて

差別をなくすために

差別を解消していくに  
は、まず一人ひとりが正  
しい人権意識を身につけるな  
ど、次のような、日常的な  
努力が大切です。

差別は、人々として幸  
せに与える権利（基本的  
人権）を侵害します。この  
ため、私たちは常に、他の人  
の権を侵害していないかど  
うかを注意し、差別が不合  
理であることを認識しなけ  
るべきです。差別をなくす努  
力

いじめについて  
入谷南中学校3年 佐

あれほどあこがれ、期待に胸をはらずに入った中学校に、いじめが待ちうけていたとは、本当に考えられませんでした。それも突然に――

昨日まで普通に穴をきいて共に笑った冗談を言い合っていたたちが話し合っても返事をしてくれないのです。周りの人たちがいてもと嫌がが通っていたい、私には何がだかわかりません。昨日が過ぎました。ま

次の日、話しかけても短い言葉しかもらえず、部活や教室移動の周りの楽しそうな雰囲気の中での、私の周りだけが動きのない、しんと不気味に静まりかえっています。

私は完全に孤立していたのです。その時々辛さや寂しさは、今思ひ出しても、ぞっとします。母

現在起きている状態を話してくれましたが、私は、もっと悪い状態に陥っているのでは、気が気でないくらいまでです。

翌日、重い足どりで学校へ行き、教室のドアを開けると、閉けた時の不安と怖さがあったのにも関わらず、定、何人かすて固ま

話を聞いて、私の

このコンクールは、権の大切さを広く児童生徒に認識してもらうための啓発活動のひとつ

別をなくすために、  
正しい認識をした上  
で差別をなくすにはこ  
ういかにかを、私たちの  
職場・学校など身近  
で話し合い、実践  
の輪を広げていく努  
めが必要です。

差別を  
なくす  
だけ  
でなく、  
「差  
許さない」社会を築く  
に努力していくましょ

笑顔を世界は

△小学



野平千夏子さん（五反野小）の作品

入連しま  
した。  
●小学

校の部〕  
▼金賞  
野平千夏  
子(五反  
野)

▼銀賞  
山田幸子  
・岩附由  
佳(中附  
生)増子  
田記子

奈々寿第四、河野朋子

浜川豊紀、引込第  
二、木村愛(中島根)、

土田榮格子(島根)、玄ジ  
ユシ(竹の塚北、砂山唐  
介花畑)

▼銅賞 春日大志 全  
寿、宇田川妙子、武田孝  
子(全寿第二)中東理理

人選

人 權 作 文

平成元年度全国中学生人権作文  
コンテスト東京都大会入選作品

(紙面の都合上、一部割愛しました)

人権と差別

入谷中学校2年 鈴木 香苗

私は、「いじめ」の映画を見る前か、人権といふことについて少し考えていましたといふのは、以前、NHKで黒人差別の死刑囚の実話を見て、とても深く考えさせられたことがあったからです。

その後、「いじめ」の映画を見思ひました。いじめと差別と同じ

アメリカでは今でも、  
同じ犯罪をしても黒人の  
ほうが大きな罰を食う  
ところ、その話ではその  
人は無実だというのが最  
後まで信じてもらえず、  
死刑になってしまったの  
です。その人が無実だと  
いう証言がなければ、黒  
い人だということだけで、  
白人の圧力がかり、そ  
うな判決が下るのだと  
言っていることです。人  
種差別もはじめに人権  
のまわり無視している  
のです。それこそ大きな  
犯罪だと思えます。

日中の生活の中に  
小さな差別がたくさんあ  
ります。例えば、外見の  
けを見てやがったり  
顔の悪いと判断し  
たり、そういう小さな

(千寿第五)、風見紗英・  
 高橋彌生・岡村吉洋 平 十四  
 野由美枝・塚副嗣・針谷  
 京子(千寿第七、飯島忠  
 (梅島第一)奥泉真耶梅  
 島第二)、磯貝利行 島  
 見聡・高師代(願  
 ▼銅賞 勝見弘美)

**忘者発表**

根、北沢将幸（弥生）、  
石川唐代子（舎人）上島  
吉晴（花畑）藤巻奈緒子  
（花畑東、西澤和子）安  
田直人（竹の塚北）橘理  
江（寺地）

《中学校の部》

心  
**ボランティア  
スピリッツ**

《中学校の部》金  
宮林真

入選者発表

さん(第十四中)の作品

このほか、佳作も多数選ばれました。

貴之(母)

弟

